

2022年12月19日

お客様各位

株式会社セゾン情報システムズ
HULFTテクニカルサポートセンター

HULFT-WebFileTransferの画面表示で文字列をHTMLタグとして認識する動作について

拝啓

平素より、テクニカルサポートサービスをご利用いただき、誠にありがとうございます。
HULFT-WebFileTransfer のブラウザインタフェースにおいて、特定の項目に HTML タグが指定された場合、そのまま HTML タグとして認識してしまう動作が確認されたため以下のとおりご連絡をさせていただきます。

敬具

下記に記載した条件で本事象が発生します。
今回リリースされた修正版の導入を実施していただけますよう、お願いいたします。

-記-

■発生事象

HULFT-WebFileTransfer において、利用者が特定の項目に指定した HTML タグが、文字列としてではなくそのまま HTML タグとして認識されてしまう場合があります。

■対象製品およびバージョン

HULFT-WebFileTransfer Ver.3.0.0～Ver.3.3.0

■発生条件

以下の条件をすべて満たすと発生する場合があります。

- ・利用者が特定の項目に HTML タグを含んだ情報を指定する
- ・ブラウザインタフェースの画面を使用する

■発生原因

一部の項目において、HTML タグとして認識されてしまう処理がありました。

■回避策

ございません。

■対応

入力した文字列に HTML タグが指定されていた場合も文字列として表示されるように修正した Ver.3.3.0A をリリースいたしましたので導入をお願いいたします。

ただし、ブラウザインタフェースの画面のカスタマイズを含む、HTML タグとして取り扱う様に設計されている機能は、引き続き文字列ではなく HTML タグとして認識します。

■当ご案内に対するお問合せ先

技術サポートサービス契約先にお問い合わせください。

【改訂履歴】

2022 年 12 月 19 日	初版作成
------------------	------

以上